

# ひばり

東国分爽風学園 市川市立稲越小学校

〒272-0831 市川市稲越3-21-8 Tel. 373-8401

<https://ichikawa-school.ed.jp/inagoshi-sho/>

校長 吉田 直美

## 子どもぽかぽか会議の結果 ～本校教育の根幹です～

子どもぽかぽか会議の様子のお知らせが遅くなってしまい申し訳ありません。

2月8日（木）のぽかぽかタイム（ロング昼休み）に、2階会議室前廊下は多くの子どもたちであふれていました。開催を事前予告していた子どもぽかぽか会議への出席を希望した子どもたちが集まっていたのです。代表委員会児童が用意していた椅子が足りずに立って参加するほどの大盛況でした。

低学年高学年関係なく発言する稲越っ子。賛成反対のどちらにも根拠があり、善し悪しや多数決だけで物事を決めることではない民主主義の本質を感じる会議となりました。代表委員会担当教員は事前に「多数決で決めるだけでなく少数であっても説得力のある意見の大切さも考えるように」とだけ委員メンバーに助言してあったそうです。

会議が終わったあと、黒板いっぱいにと多く意見が書かれていたことか。意見が拮抗し結論が出せなかった議題には「結論保留」と書かれており、自分たちの学校生活についてどれだけ真剣に考えたのかが見て取れました。黒板に残された素敵な意見の数々。

保留とした意見の中で私が「稲越っ子やるなあ」と感心したのは、「校長先生の言っていることがすべてじゃない」という一文です。担当職員に詳しく聞くと、「木登りは良いか悪いかという議題で、学校を守っている校長先生が登ってもいいと言っているのであればいいのでは？」という意見が出た時、6年生から、校長先生という立場の人が言ったからといっていつも正しいとは限らない、という意見が出たんですよ」とのこと。

この会議を通して、稲越っ子が学んだことは何か、そして教職員が学んだことは何か。今後の学校運営の根幹に関わる重要な視点となる会議だったと思います。